認定看護師会お便り

2022年9月　認定看護師会

秋の食べ物が美味しい季節、でも…秋のアレルギーの辛い季節となりました。
みなさん、お体の調子はいかがでしょうか。
本年度は、認定看護師の活動を知っていただくために、各認定看護師をご紹介しています
9月号は、感染看護認定看護師・田中早苗さん、緩和ケア認定看護師・徳竹秀子さんです

感染看護認定看護師・田中　早苗さん

Q自己紹介をお願いします

今年度で勤続37年目となります。
認定看護師になり10年目です。かわいい孫がいて、10月31日で2歳になります。

Qどんな活動をされているか教えてください

入院患者さんや職員の感染について考えたり、対応策にあたっています。ほぼ毎日微生物検査室へ行き、培養検体陽性患者の情報を元に尿路感染や耐性菌感染、血液関連感染などを検索し、管理などの方策に問題がないかを検証します。データを収集し改善策を部署へ提案すること。
3年前からは、COVID-19 対応に追われています。
ICTメンバーと毎週水曜日には病棟をラウンドして感染環境の状況を確認しています。

Q認定看護師になろうと思った理由は？

一度はお断りしましたが、お世話になった看護部長からの推薦でした。

Qセールスポイントは？

フットワークが軽いことかな?

Qみなさんへのメッセージ

COVID-19 対応へ当院は全職員で取り組んできました。
そして協力体制が整った病院が自慢です。ですが疲労感を病院全体に感じています。
終わりが見えないこの対応に、もうしばらくご協力ください。

スタッフさんから見た田中さんはこんな人

田中さんは、病院にとって要のポジションである感染看護認定看護師として、日々、患者さんや私たちスタッフのために、動いてくださっています。重要な判断をしなければいけない場面でも、つねに冷静沈着に対応し、エビデンスに基づいた指導をしてくれます。現場に沿った感染対応を柔軟に考えてくれ、だからこそ、私たちはこのコロナ禍でも安心して働くことができるのだと思います。
容姿端麗でかつ自分磨きにも努力されており、見習わなければと思うばかりです。

緩和ケア認定看護師・徳竹　秀子さん

Q自己紹介をお願いします

看護経験を積む中で緩和ケアに関心が高まり、緩和ケア病棟を経験し、認定看護師16年目となりました。ご縁があり3年前から当院で緩和ケアに邁進しております。
一時期海外旅行で異文化に触れ視野を広めることもありましたが、今は、温泉（特にサウナ）めぐりで気分転換をしております。

Qどんな活動をされているか教えてください

・外来、病棟で患者さん（ご家族）に告知、治療方針などの重要面談に同席し、その後も患者さん（ご家族） の気がかり、心配ごとなどの支援を部署のスタッフと連携して行っています。
・緩和ケアチーム看護師として、依頼患者さんのケアについて部署のスタッフと連携し、週一回多職種で行うチームカンファレンスでケアの確認や方向性を検討しています。
・緩和ケア外来の診察補助　など

Q認定看護師になろうと思った理由は？

がん性疼痛や治療が困難な患者さんや、表情なく抑うつ的に過ごされている患者さん・ご家族のケアに苦慮していたことから、専門的な知識、技術が必要と感じたこと。年代的にスタッフから相談受けることが多く、指導に役立てたいと目指しました。

Qセールスポイントは？

あえて言うなら、遭遇する出来事をポジティブに考え行動すること

Qみなさんへのメッセージ

緩和ケアは、患者さん、ご家族の痛みや呼吸困難などの身体的つらさはもちろんですが、病気や治療、今後の生活などへの不安、医療費や就労などの社会的な問題など様々なつらさが関連しています。当院では、患者さんご家族のつらさを早期に気づき、適切な支援が行えるよう、病気が診断された時から緩和ケアが受けられるように緩和ケア外来、緩和ケアチームも活動しています。〝つらい〟と感じたときは「緩和ケアを受けたい」と声をかけてください。一緒に考えていきましょう。

スタッフさんから見た徳竹さんはこんな人

徳竹さんはとても温かい方です。患者さんとお話しているときは、必ず患者さんの目線になり、穏やかな声で患者さんのペースに合わせてゆっくりお話してくださっています。
私たちスタッフからの相談の時も、とても親身に相談に乗ってくださり、母のように包み込んでくれる優しさをとても感じます。